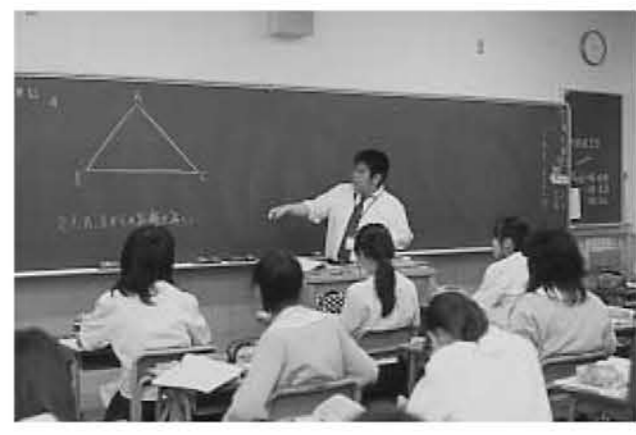


1 Chapter  
 きめ細かなコース  
 編成と一人ひとりに  
 応じた受験対策で  
 志望校を目指す

1879（明治12）年の創立以来、同校では、個性と能力を最大限に発揮できる自立した女性として、豊かな人生を歩めるように生徒一人ひとりを育てています。そして中高6カ年という時間のゆとりを活かした教育を展開する中で、



年々、多様化する生徒の進路に対応するため、2012年度より大きなコース改編を行います。中学では「一貫特進」と「特進」の2コースを新設し、望む進路へと導きます。「一貫特進」では、高2で文系と理系に分かれますが、中高6カ年間で「一貫特進」で学び、国公立大学現役合格を目指します。「特進」は、少人数制クラスによるきめ細かな指導で、学力と希望に

期待値 MAX  
**注目校 NOW!**

2012年度からの新コース制で  
 一人ひとりの希望進路へと確実に導く

2 Chapter  
 表現力や  
 倫理的思考力を  
 育む取り組みは  
 今後も継続

コース改編が進む一方で、継続されるプログラムも多くあります。特に最近の大学入試は学科試験だけでなく、小論文や面接で自分の意見や考えを的確に伝える能力が問われるものが増えているので、中1から総合的な学習の時間に、学習情報センターLRC（図書館）や、マルチメディア室を使って情報収集方法を指導。中2ではプレゼンテーションにも挑戦させるなど、論理的思考力や文章力、表現



力を育成しています。その集大成となるのが中3の卒業論文です。中2から各自研究テーマを探し始め、中3でそれについて立てた仮説を、多角的に論証していくという本格的なもの。時間をかけた制作過程で社会的視野が広がり、自分の考えを論理的に伝えることができるようになるそうです。また、2009年より「基礎教育研究所」を開設しています。「エクステンションプログラム」と称し、希望者を対象にさらなる学習支援を行っています。中高とも学習の習熟度に合わせ、基礎学力の定着を目的とした補習型講座と、応用力をつけるための発展型講座と

応じて柔軟なクラス分けを行います。中2からは「選抜特進」と「特進」に分かれ、高2で高校からの入学生と合流した後、「選抜理系」「選抜文系」「特進」となり、そして2013年度より「特進」に「芸術系進学クラス」が新設されます。高3になると指定校推薦が受けられる「私立特進」も設置。「選抜文系」「選抜理系」から「私立特進」へも移行できるカリキュラム構成なので、今まで以上に選択肢が広がるというわけです。

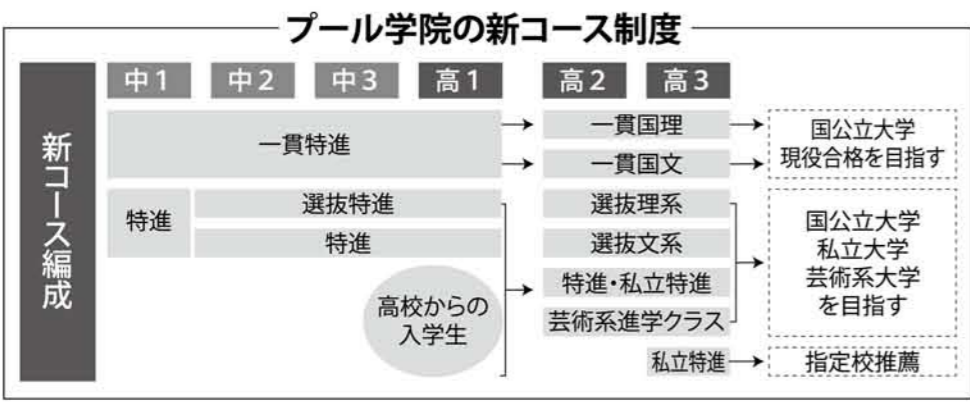
授業時間数も週36時間から38時間となり、「一貫特進」では英語と数学の授業を増設。長期休暇中も一定期間の登校日を設け、夏休みには勉強会も行うなど、全教科にわたって学習指導の強化を図ります。そして、高2で高校教育課程を修了し、高3から受験対策に入ります。あくまで、ゆるやかに、いいねいな先取り学習が基本。各教科ともカリキュラムを精査し、中学でも高校の単元を効率よく取り入れていくため、決して詰め込み式の授業にはなりません。

プール学院



一方、「特進」は追加した2時間を英語と数学の補習に充て、自分のペースに合わせて自学自習を実施します。この補習時間で、習熟度が低い生徒は基礎学力を定着させ、成績上位者は発展学習に取り組みます。このように「一貫特進」「特進」とも、一人ひとりに応じた受験対策に力を注ぎ、志望大学によって選択授業はマンツーマンでも対応していくということです。

を設置しています。高2・高3では進路別講座も開催しており、目的に応じて最適な指導を行っています。女性を取り巻く社会環境が急激に変化し、求められる人材、職種も多様化している昨今、生徒一人ひとりが、未来への選択肢を広げるための数々の挑戦に期待が高まります。



**POINT**  
 中1・中2で  
 『基礎学力検定』を実施

中高6カ年において、生徒自らが積極的に学ぼうとする姿勢を身につけるため、成長段階に応じた取り組みを行う同校。高校へ進学する際、入試のかわりに独自の判定基準を設けた『基礎学力検定』を実施しています。「中1、中2を対象に、すべての教科で検定項目

の合格を目指すことが目標です。たとえば、英語検定は4級以上を進学の条件とし、毎年3学期には「レネーション(暗唱)コンテスト」を実施。理科では顕微鏡やガスバーナーの実技検定、家庭科では裁縫検定など、中2終了時点で全員合格を目指します。自分で縫ったカバンは、少々縫い目がそろっていないくても愛着がわくようで、誰もが大切に使っています」(教頭・笠原先生)  
 卒業論文の作成と同様、与えられた課題を一つずつクリアすることで達成感が得られ、そこからついた自信や集中力は教科学習にも好影響を与えています。